



新潟県

第7回地域医療構想及び医療計画等 に関する検討会

新潟県の医師確保の取組 について

新潟県福祉保健部長
中村洋心

2025.11.14
(金)

1. 新潟県の医師数等の状況について
2. 新潟県の医師確保の取組について
3. 今後の課題について



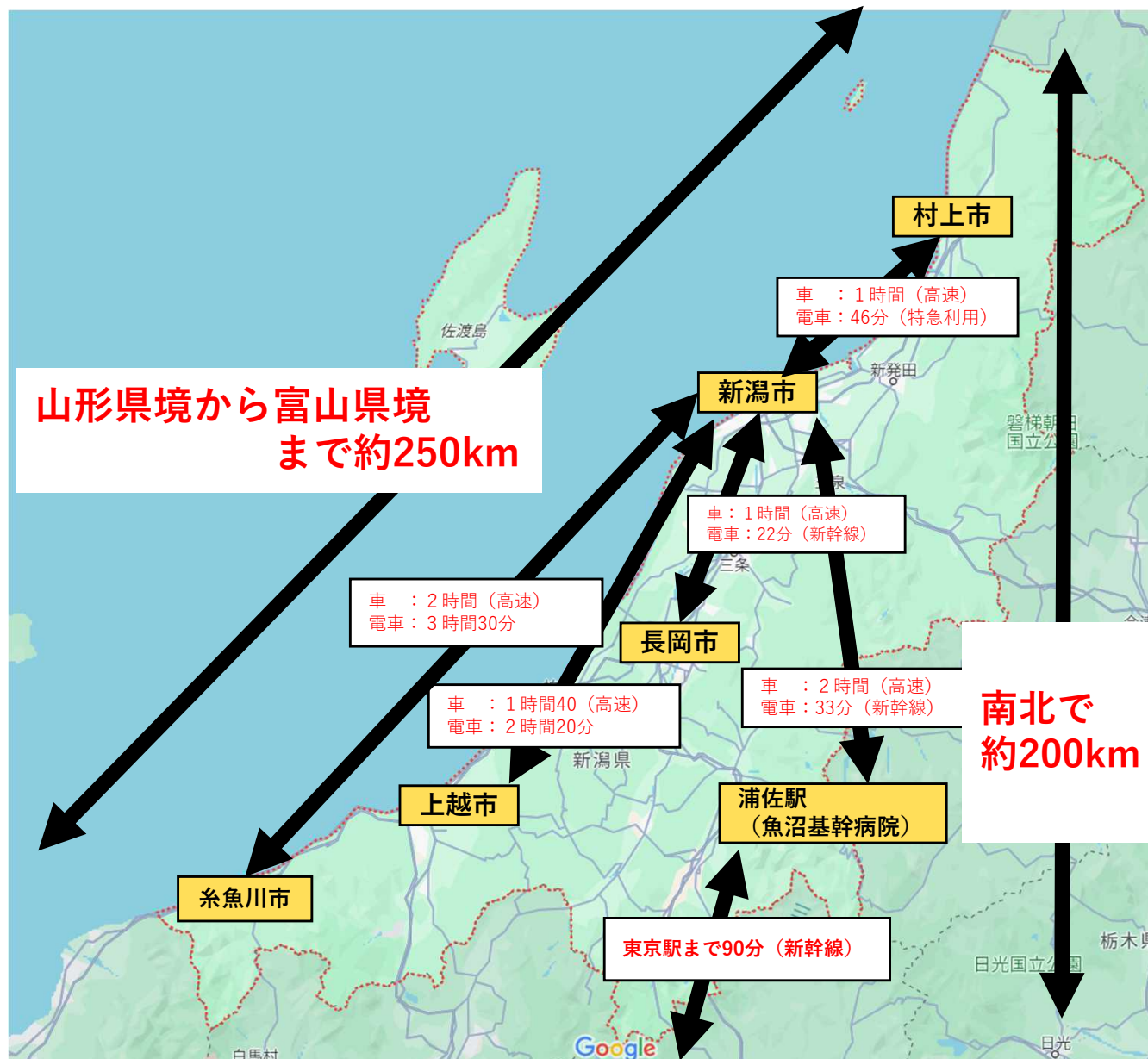
新潟県

1. 新潟県の医師数等の状況について

新潟県の県土の広さ①



新潟県



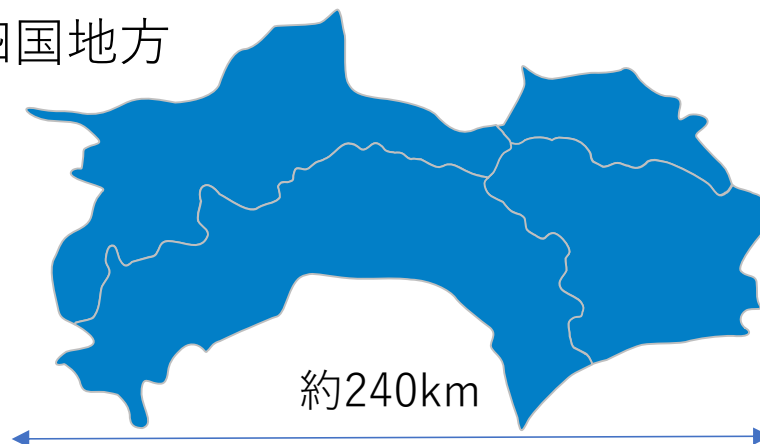
※所要時間は
各市の中心駅⇄新潟駅で試算

新潟県の県土の広さ②

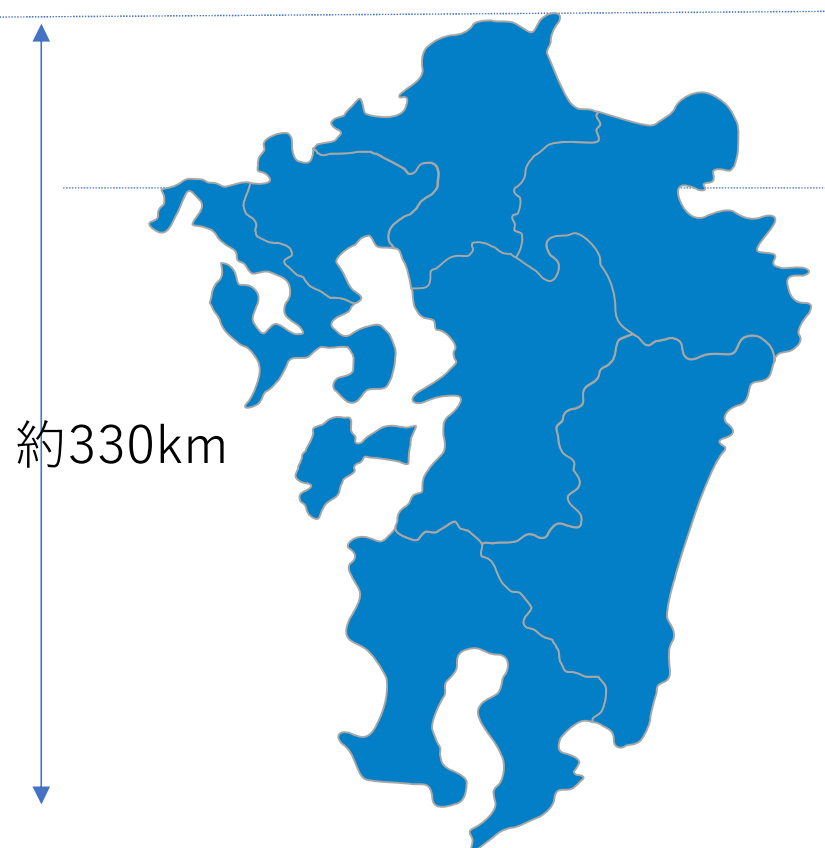


新潟県

四国地方



約240km



約330km

九州地方



約250km

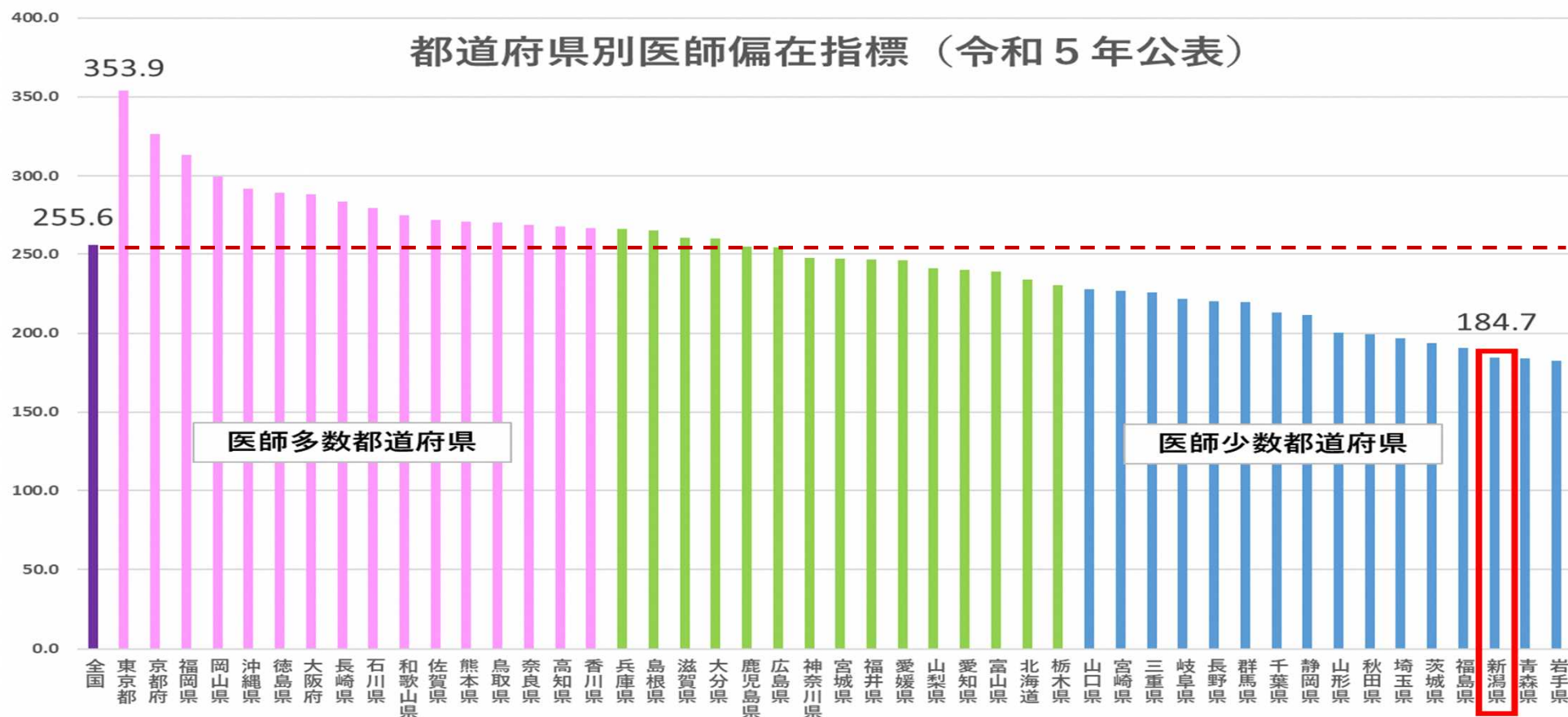
新潟県

新潟県の医師数の状況①



新潟県

「医師偏在指標」では、新潟県の全国順位は45位（医師少数県：下位1/3）
（県内医療圏のうち新潟圏域以外の6圏域が医師少数区域に位置付けられた。）



「医師偏在指標」とは、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標として、医療需要（ニーズ）及び人口・人口構成とその変化、患者の流出入、へき地等の地理的条件、医師の性別・年齢分布等を考慮した指標（国が設定）

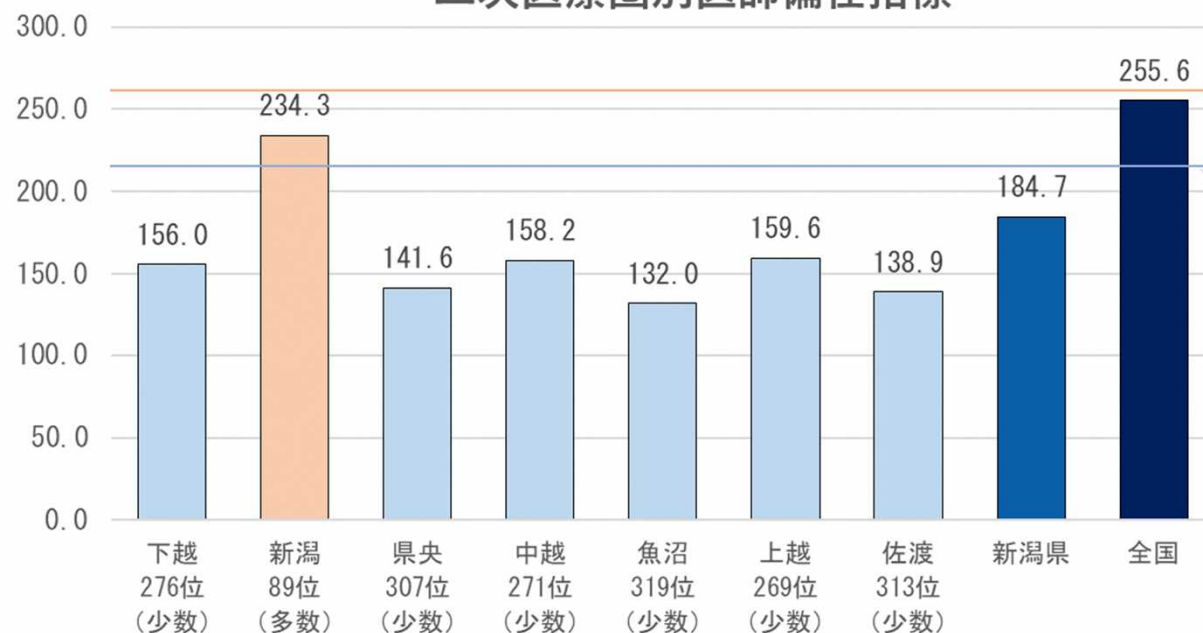
新潟県の医師数の状況②



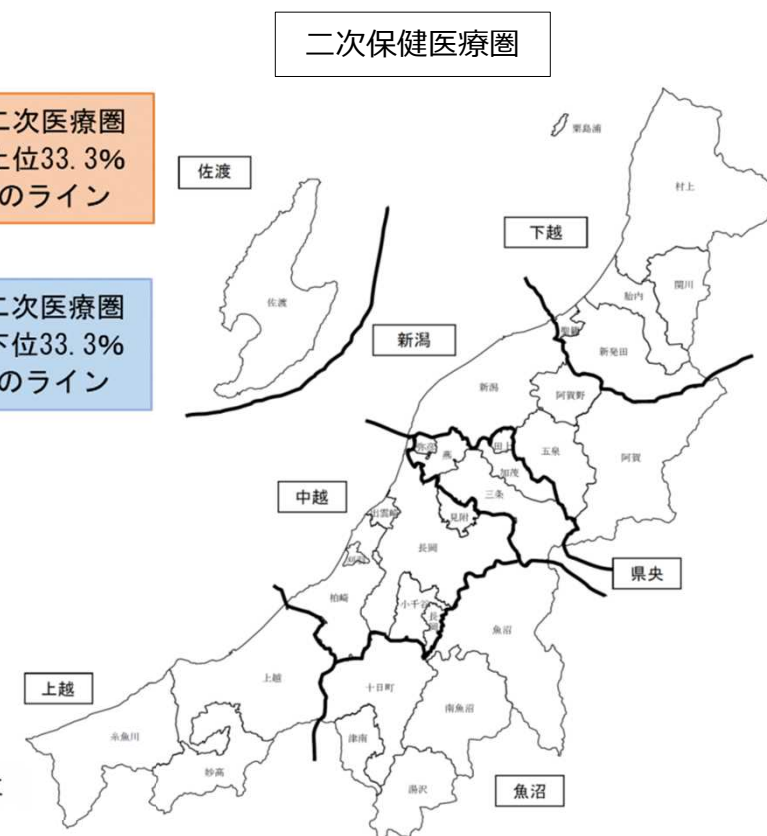
新潟県

（「医師偏在指標」では、新潟県の全国順位は45位（医師少数県：下位1/3））
県内医療圏のうち新潟圏域以外の6圏域が医師少数区域に位置付けられた。

二次医療圏別医師偏在指標



※順位は330二次医療圏中の順位



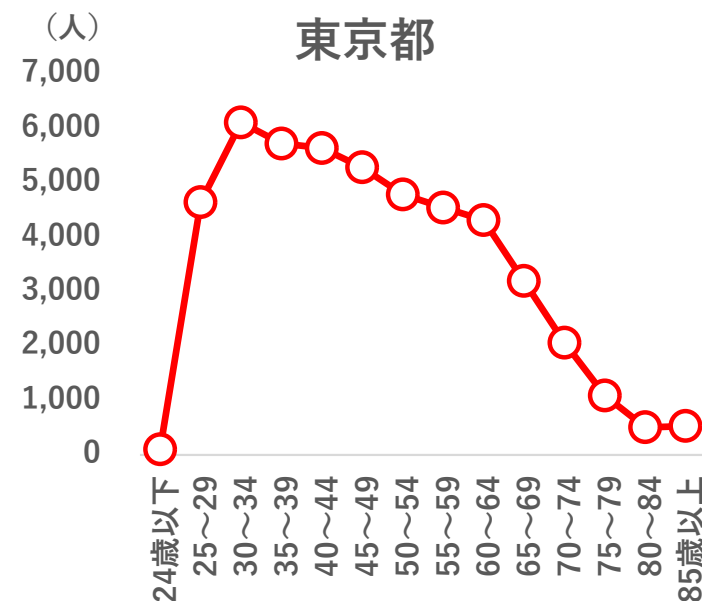
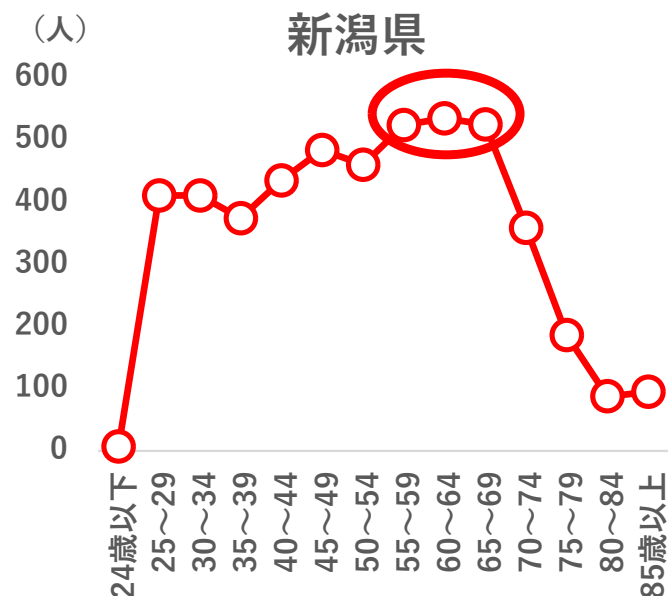
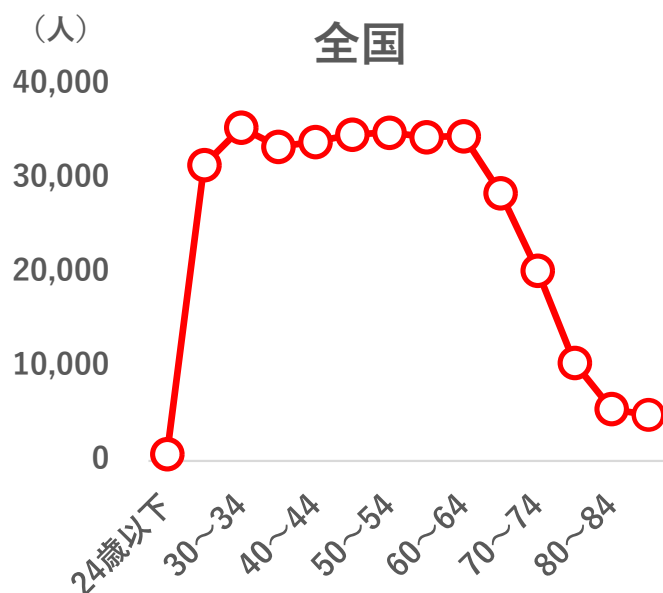
「医師偏在指標」とは、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標として、医療需要（ニーズ）及び人口・人口構成とその変化、患者の流入、へき地等の地理的条件、医師の性別・年齢分布等を考慮した指標（国が設定）

新潟県・全国の医師の年齢構成等



新潟県

東京都と比較すると新潟県の医師の年齢層の偏りがはっきりとわかるが、新潟県の医師のボリュームゾーンは55歳～69歳であり、高齢化が進んでいる。



資料：令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計



新潟県

2. 新潟県の医師確保の取組について



新潟県

医学部入学段階からの医師確保

新潟県の医師確保の取組（地域枠の拡大）



新潟県

令和2年度以降、県内外の大学医学部に地域枠（修学資金貸与あり※）を拡大

（単位：名）

大学名	H25～R 1	R 2	R3	R 4	R 5	R 6	R 7	増減
新潟大学（H21～）	12	22	2 7	3 3	4 0	4 0	4 0	
順天堂大学（H22～）	2	2	2	2	1	1	1	
関西医科大学	—	2	2	2	2	2	2	
昭和医科大学	—	—	2	7	7	7	7	
東京医科大学	—	—	—	2	3	3	3	
東邦大学	—	—	—	5	7	8	8	
杏林大学	—	—	—	2	3	4	4	
日本医科大学	—	—	—	—	2	2	2	
日本大学	—	—	—	—	2	4	4	
北里大学	—	—	—	—	3	3	3	
獨協医科大学	—	—	—	—	—	2	2	
帝京大学	—	—	—	—	—	1	1	
金沢医科大学	—	—	—	—	—	—	2	+ 2
合計	1 4	2 6	3 3	5 3	7 0	7 7	7 9	+ 2

※ 修学資金貸与総額(6年間): 国立(新潟大学) 1,080万円 私立:2,160万円～3,700万円

県教育委員会や地域枠設置大学との連携等により、医学部の受験者確保の取組を推進

1. 県教育委員会と連携した主な取組

(1) 講演・座談会

県教育委員会が開催する医学科合格講座や、高等学校等が開催する進学セミナーにおいて、医師を目指す動機づけ、医学部受験に向けた意識の向上、受験対策等を目的とした講演を実施するとともに、医師・医学生との座談会を実施

◆令和6年度 講演19回・座談会3回
(延べ参加者 生徒約600人 保護者約250人)



(2) 医学部進学講座 (R7~)

医学部進学を目指す高校生等を対象に、正解のない問いを考え続ける医師という職業への理解を深め、「医師になる」「医学部を受験する」という熱意の維持・向上を図ることを目的とした、「医の道ビルドアップ講座」を開設

◆令和7年度 全6回開催 (各回受講者約170人)

医
の
道

ビルドアップ講座



2. 地域枠設置大学と連携した主な取組

(1) 新潟県医学部地域枠等入試説明会

全国の医学部志望者に向けて、学長や医学部長等が自ら新潟県地域枠及び地域枠設置大学の魅力を紹介するなど、最新の入試情報を提供するオンライン説明会を開催

◆令和7年度 全8回開催（延べ参加者1,285人）

＜各大学の説明者＞

新潟大学：佐藤医学部長／東京医科大学：三苫副学長

杏林大学：平形医学部長／金沢医科大学：大黒医学部長

順天堂大学：高橋医学部長／獨協医科大学：種市医学部長

日本医科大学：弦間学長／北里大学：小川医学部長

自治医科大学：武藤特別参与

東邦大学：池田医学部長／帝京大学：飯塚教授

昭和大学：小風医学部長／日本大学：木下医学部長

(2) オープンキャンパス等における講演・個別相談会

新潟県地域枠設置大学のオープンキャンパス等への参加による、新潟県地域枠の魅力を発信する講演・個別相談会を実施

◆令和7年度 7大学で13回実施



全国の学生が注目する新潟県地域枠を徹底解説！
全国どこからでも参加できるオンライン開催！

新潟県医学部地域枠等 入試説明会

第1部 新潟県地域枠説明会
地域枠の仕組み、キャリア形成など
新潟県地域枠のすべてを説明します！
・地域枠ってそもそも何？
・都道府県によってどんな違いがあるの？
・新潟県地域枠の特徴は？
8/7(木) 19:00-20:20

第2部 学長・医学部長等による大学説明会
新潟県地域枠の設置大学の魅力を直接語る！
入試制度もあわせて説明！

8/26(火)	19:00-21:00	新潟大学	東京医科大学
9/3(水)	19:00-21:00	杏林大学	金沢医科大学
9/4(木)	19:00-21:00	順天堂大学	獨協医科大学
9/8(月)	19:00-21:00	日本医科大学	北里大学
9/11(木)	19:00-20:30	自治医科大学	
9/17(水)	19:00-21:00	東邦大学	帝京大学
9/18(木)	19:00-21:00	昭和医科大学	日本大学

すべての日程で説明会後、県・大学担当者との個別相談を実施
気になること、分からなかったこと、何でも聞いてください！

詳細・お申し込みはこちらから

新潟県の医学部受験情報は
医師ナビにいたQ

お申し込み
申込み

新潟県福祉保健部
医師・看護職員確保対策課
025-260-5960 mgc1442@pref.niigata.lg.jp

3. その他の主な取組

(1) 首都圏の高等学校等に向けた情報発信

新潟県地域枠設置大学が多く所在する首都圏の高等学校等の進路指導担当教員を対象に、進路指導研究会を開催（主催：森上教育研究所）

- ◆開催日 令和7年5月30日（金）
 - ◆場 所 アルカディア市ヶ谷(東京)
 - ◆参加者 首都圏高等学校等の進路指導担当教員
65人（55校）
- ※参加校から生徒向け講演の個別依頼が多数あり



(2) 医学部進学相談会への出展

全国の医学部志望者が参加する進学相談会にブースを出展し、新潟県地域枠の魅力を紹介する講演や個別相談を実施

- ◆令和7年度 6会場（東京・大阪）で実施





新潟県

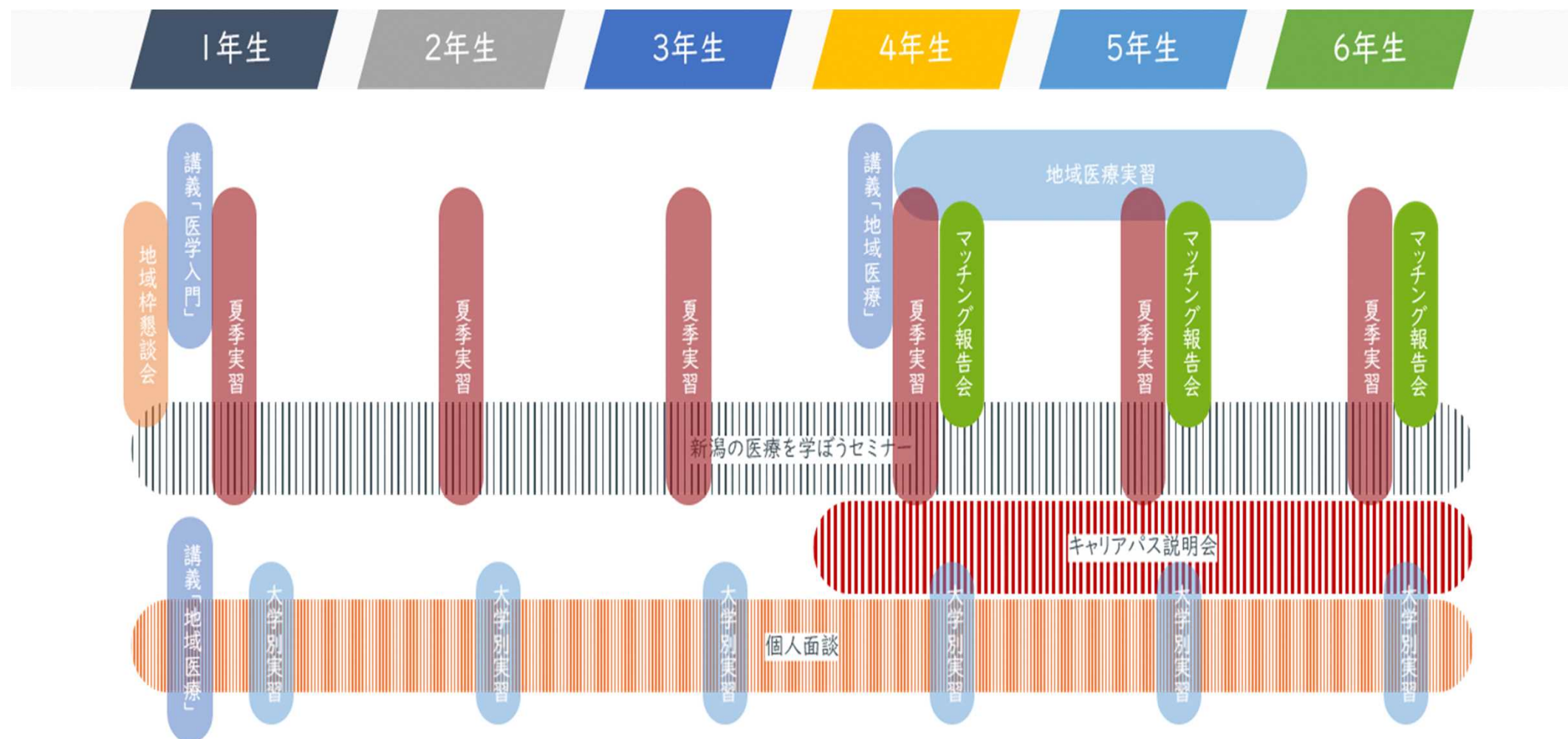
地域枠など県費修学生のキャリア形成支援と配置

地域枠医学生の卒前・卒後における育成に県キャリアコーディネーター（医師）と大学教員が一体となり携わる仕組みを構築

	卒 前	卒 後
キャリア形成支援	・入学直後にキャリア形成プログラムを説明し、理解を促進 ・県のキャリアコーディネーター（医師）が、医学生と毎年一人一人丁寧に個別の面談を実施し、<u>一歩踏み込んだ</u>キャリア形成を支援 ・各学年の段階に応じ、<u>県内の医療・地域医療・生活等を知っていただくための地域医療実習（夏季実習）</u>を実施 ・診療科選択のための<u>キャリアパス説明会</u>を開催 ・県のキャリアコーディネーターが<u>地域枠設定大学と連携し、地域医療等に係る講義など</u>を実施 など	・県のキャリアコーディネーターが地域枠卒業医師と毎年一人一人丁寧に個別の面談を実施し、<u>一歩踏み込んだ</u>キャリア形成支援や生活相談等を実施 ・医師の<u>キャリアアップや生活等に配慮して配置先を決定</u> など
支援の仕組み	・新潟大学に地域医療支援センター<u>分室を設置</u>（地域枠医学生に対するキャリア形成を支援） ・新潟大学に<u>寄附講座</u>を設置（医学部全教員をあげ、全課程で支援する仕組みの構築を依頼） ・地域枠設定大学と県による<u>地域枠に係る協定を締結</u>し、県と大学が連携してキャリア形成等を支援 ・県のキャリアコーディネーターと大学と連携して、新潟県内の病院での実習をスムーズに行う仕組みなどを構築	



きめ細やかなキャリア形成支援等により、これまでに医師キャリアやライフイベントを理由に離脱した地域枠卒業医師は0人



※**私立大学地域枠の学生**については、新潟県とゆかりのない学生が多いことを踏まえ、夏季実習に加えて、「**プラスワン実習**」として**2泊3日で県内医療機関での実習**を毎年追加で実施

大学の枠を超えて毎年新潟で実習



新潟県

1年生の実習

実施日 8月17日
実施地 8月20日～21日
集合 8月20日 8時10分
集合場所 新潟県庁前バス停
実習先 新潟市保健医療センター
担当 スポーツ交流課

1年生は、全員で新潟市保健医療センターへ行きます。
 新潟市保健医療センターの見学のほか、新潟市という地域を知る地域エクスカーションを行います。また、実際の患者さんのお宅に伺って見ます。

2・3年生の実習

実施日 8月17日
実施地 8月20日～21日
集合 8月20日 各病院集合
集合場所 新潟市保健医療センター
実習先 新潟市保健医療センター
担当 スポーツ交流課

2・3年生は、1グループ1～3名に分かれ、県内の医療機関で実習をします。地域・規模様々な病院で、それぞれが経験したことを、みんなで共有するためのグループワークを、21日に行います。

4年生の実習

実施日 8月20日～21日
実施地 8月17日
集合 8月20日 7時25分
集合場所 新潟市保健医療センター
実習先 新潟市保健医療センター
担当 スポーツ交流課

4年生は、1グループ2～4名に分かれ、新潟市内の医療機関で実習をします。実際の患者の様子（病室・診察室・退院指導）などのほか、医師・看護師・介護士などとも実習があるかもしれません。また、20日の夜は、新潟市保健医療センターの講堂で、新潟市の若手医師との懇話会などを予定しています。

5年生の実習

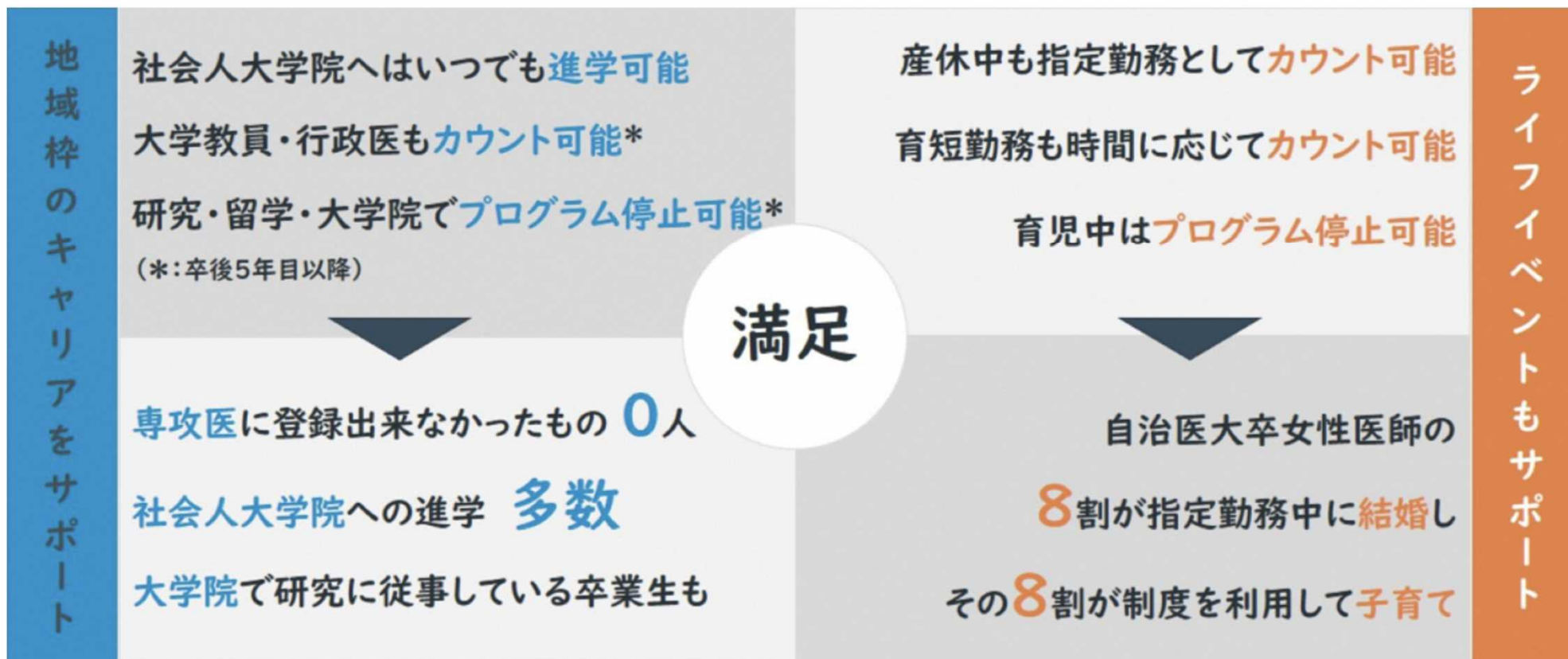
実施日 8月16日～17日
実施地 8月16日 8時10分
集合場所 新潟市保健医療センター
実習先 新潟市保健医療センター
担当 スポーツ交流課

5年生は、全員で新潟市保健医療センターへ行きます。地域医療連携事業の一環として、医療現場で学ぶ実践的なハンズオンセミナー・患者さんのこと、生活を支えるグループワークなどを行う予定です。



将来共に働く支えあう仲間 新潟再発見

新潟への愛着 県による丁寧なサポート



これまでに医師キャリアやライフイベントを理由として離脱した地域卒卒業医師は0人です！

医師ナビにいがたより

将来に向けてのイメージ共有の機会の提供



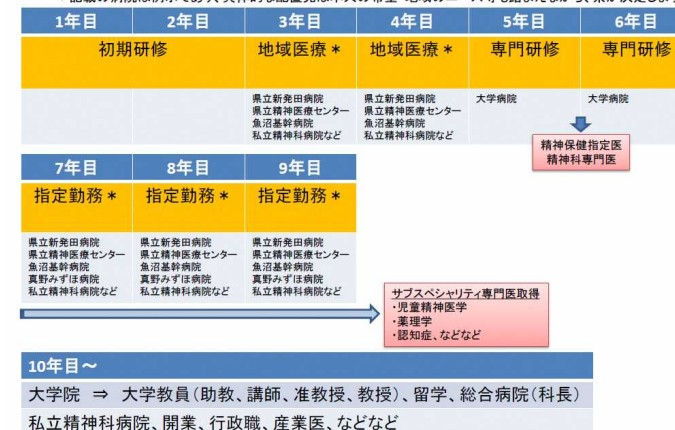
キャリアパス説明会

医学生の間から県内の専門研修プログラムを比較・検討できる機会を提供し、将来のキャリア選択の幅を広げることを目的に、地域枠医学生を対象としたオンライン説明会を実施

- ◆対象：地域枠等医学生（4～6年生対象）
- ◆令和7年度実績：3回実施（延べ約210人参加）

奨学金貸与医師（地域枠B）②

* 記載の病院は例示であり、具体的な配置先は本人の希望・地域のニーズ等も踏まえながら、県が決定します



医師臨床研修マッチング報告会

臨床研修マッチングに参加した6年生の体験や感想を共有することで、1～5年生が、次年度以降のマッチングに向けた具体的なイメージを持ち、準備に役立てることを目的とした報告会を実施

- ◆対象：地域枠医学生を中心に誰でも参加可能



地域医療支援センターの体制（R7）



新潟県

- すべての地域枠等医学生・卒業生に、毎年個別面談において、県からの期待と感謝を伝えるとともに、勉強、キャリアやライフイベントに関する悩みや勤務に関する希望などを丁寧に聞き、病院や医局の意向も踏まえ、地域医療対策協議会において配置を決定
- 面談は、一貫した説明が可能で責任を持てる地域医療支援センターのキャリアコーディネーター（医師）が対応

神田センター長（統括） 前田 副センター長



自治医大卒医
県庁行政医／開業医



自治医大卒医
県庁行政医

黒澤CC



新潟大卒医
県庁行政医

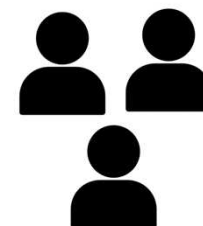
中西CC



大分大卒医
県央基幹病院勤務

本部（県庁）

事務職員



霍間CC



自治医大卒医
医学科分室専任医師

片桐CC



東京医科大卒医
医学科分室専任医師

新潟大学医学科分室

事務職員



小泉CC



県央分室専任医師
県央基幹病院勤務

県央分室

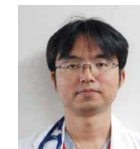
R5～

木島CC

自治医大卒医
県立中央病院勤務



齋藤CC



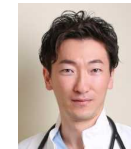
自治医大卒医
県立十日町病院勤務

松澤CC



近畿大卒医
県庁行政医

西山CC



自治医大卒医
開業医



新潟県

臨床研修医の確保

1. 医学生へのリクルート活動の強化

合同説明会の開催や、デジタルパンフレットの整備などにより、県内外の医学生に本県の臨床研修の魅力を発信

2. 臨床研修プログラムの魅力、教育力の向上

新潟大学医歯学総合病院をはじめ県内臨床研修病院の特長を活かした研修プログラムの増設や研修医に人気のある臨床研修病院の取組を他の研修病院と共有等

3. イノベーター育成臨床研修コース（R4～）

臨床研修に加え、自己研鑽によりマネジメントスキル等を修得できる県独自の研修コースを運営

◆令和7年度受講者 … R6採用研修医：18名、R7採用研修医：23名

4. 他県病院と連携した研修プログラムの設定（R5～）

他県の人気病院と連携した研修プログラムの設定等による研修医の確保

◆プログラム選択者 … R5採用研修医：15名、R6採用研修医：23名、R7採用研修医：18名

5. WHO（世界保健機関）等での研修が可能な研修プログラムの設定（R7～）

国立保健医療科学院と連携し、WHOなど国内外の公衆衛生に携わる機関等で研修を行うことができる臨床研修プログラム

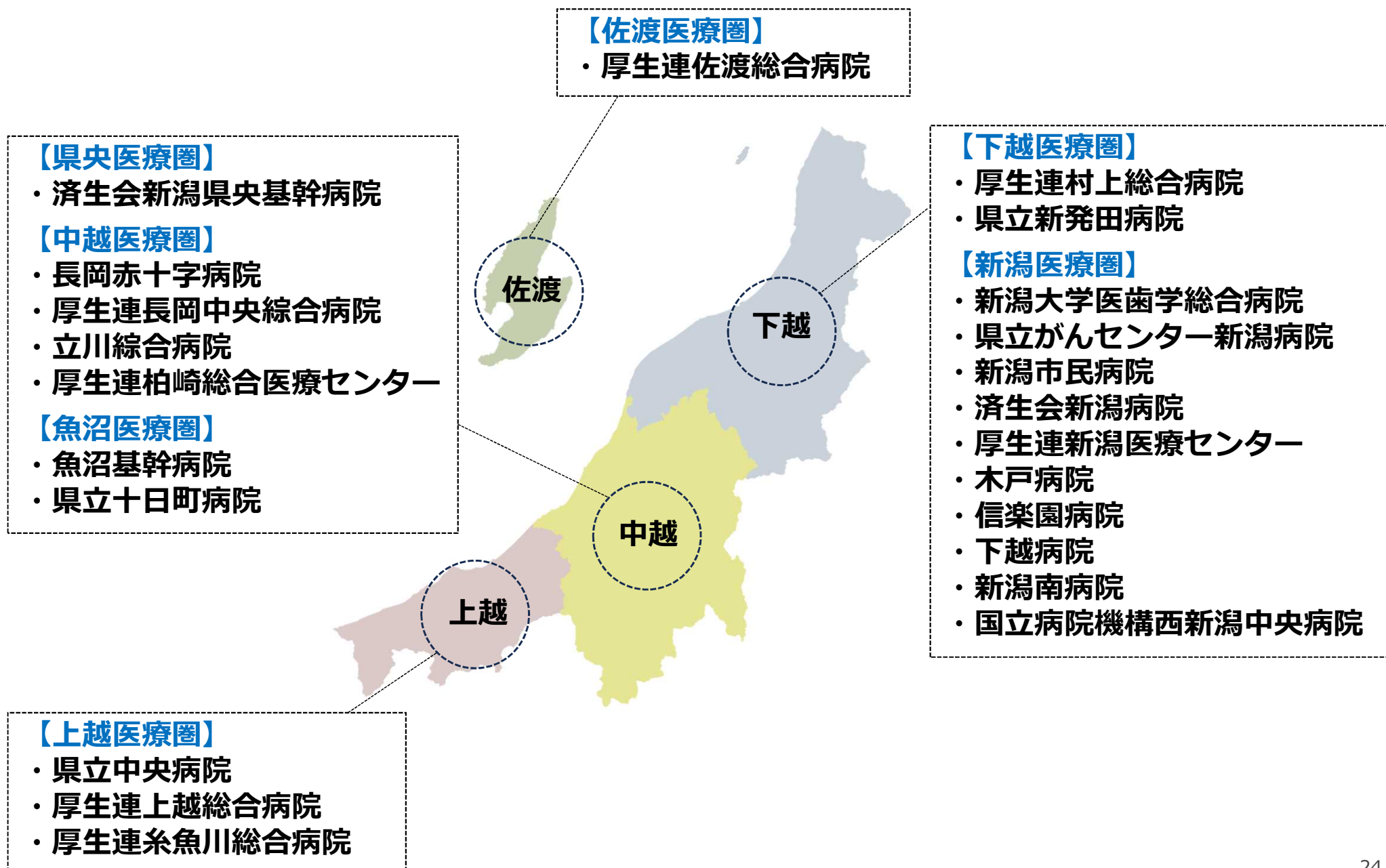
◆プログラム選択者 … R7採用研修医：1名

6. 産業医資格の取得が可能な研修プログラムの設定（R7～）

臨床研修の一環で県医師会が主催する講習会に参加し、産業医の資格を取得できる臨床研修プログラムを設定（本プログラムを選択した研修医は、講習会を無償で受講可能）

◆プログラム選択者 … R7採用研修医：4名

新潟県 基幹型臨床研修病院 一覧（23病院）



新潟の充実した選択肢（2プログラム×4コース）



新潟県

臨床研修プログラム

一般研修プログラム
(2年間新潟で研修)

関東・関西等
たすきがけプログラム
(1年県外→1年新潟県)

いずれかを選択

×

R
7
新
設



◎ 国際保健コース

国立保健医療科学院の研修プログラムに参加し、WHOや厚労省など公衆衛生の最前線で視座を高める



◎ 産業医資格取得コース

初期研修中に保健・医療行政を学びながら無償で産業医資格を取得できる



◎ 県庁インターンコース

県の保健医療行政を担う県庁で地域医療の課題を俯瞰・分析し、政策立案などを学ぶ

選択なし

いずれかを選択

+aコース

+



イノベーター育成
臨床研修コース

※臨床研修の課外

任意で選択

新潟の病院にマッチするだけで1年ずつ研修できる

県外病院

×

新潟県内病院

例：1年目は県外の協力型病院、2年目は新潟県内の基幹型病院等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	県外の協力型病院※ 県外病院での研修期間は各病院の状況に応じて1年間とは限らない											
2年次	新潟県内の基幹型病院等											

※連携先の一例

札幌徳洲会病院（北海道）

公立昭和病院（東京）

湘南鎌倉総合（神奈川）

練馬光が丘病院（東京）

一宮西病院（愛知）

北野病院（大阪）

【概要】新潟県の病院を基幹型、県外病院を協力型として1年ずつ研修を行うプログラム

【連携状況（令和7年度募集プログラム）】

新潟県の基幹型臨床研修病院23病院のうち13病院が県外病院とのたすきがけプログラムを設定（連携先の県外病院の状況は下図のとおり）



【実績】県外たすきプログラム選択者

R5開始研修医：15名 / R6開始研修医：23名 / R7開始研修医：18名

イノベーター育成臨床研修コース（R4～）



新潟県

2年間の臨床研修をしながら、幅広い視点からの多様な考え方や実践的なプロジェクトを通して、社会に変革を起こす力を身につける県独自のコース

変革力を身に着けた医師を育てる

思考力	ロジカルかつ仮説思考／マクロかつミクロな視点
実践力	人を動かす／チームを動かす／組織を動かす
創造力	テクノロジーを理解／新規性の創造
人脈力	人に恵まれ、人の中で生きる

講義内容

■思考力	・ロジカルシンキング
■実践力	・リーダーシップ ・マーケティング ・組織行動理論 ・交渉学
■創造力	・イノベティブ思考／テクノロジー
■その他	・プロジェクトワーク など

主任講師陣



ハイズ株式会社代表
慶應MBA 医師

斐 英洙



HatchEdu 代表理事
スタンフォード大学
教育大学院修士課程修了
甚上 直子



金融機関勤務（インパクト投資）
オックスフォードMBA

馬場 ちひろ



Envista Holdings
Corporation
Country Manager
IMD MBA 歯科医師

久保 健一郎



神奈川県立保健福祉大学院
ヘルスイノベーション研究
科医師・ハーバードMPH

吉田 穂波



HatchEdu 理事
東京大学経済学部

石井 雅紘

講師陣のほか、世界で活躍する方々をメンターに据える

「NST新潟総合テレビ」放送

“臨床研修医”が学びの成果を発表 医師確保へ新潟県が独自の研修プログラムを実施

2024/03/09 19:08

NIIGATA NEWS NST



医師の確保に向けて、新潟県が臨床研修医を対象に開いてきた研修の発表会が9日、行われました。

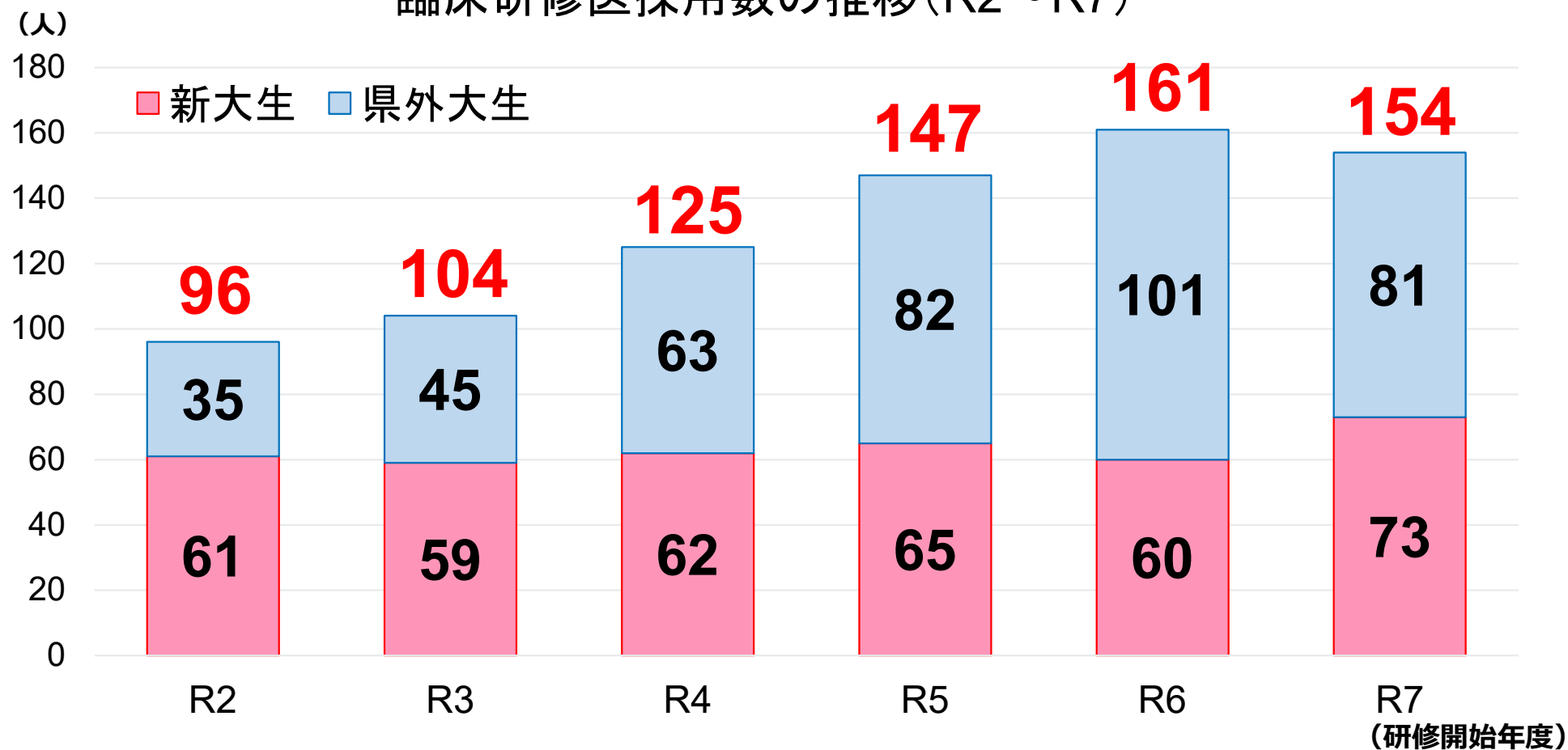
「イノベーター育成臨床研修コース」は県内の病院に勤める研修医がマネジメントなどを学ぶ県独自の取り組みです。

医師の卵とも言える臨床研修医に、キャリアの初期段階から新潟に入ってもらうことを目的としています。

<https://news.goo.ne.jp/article/nsttv/region/nsttv-20358.html>

令和2年度以降、県内の臨床研修医数は大幅に増加し、特に県外大学出身者の増加が大きく寄与している。

臨床研修医採用数の推移(R2～R7)



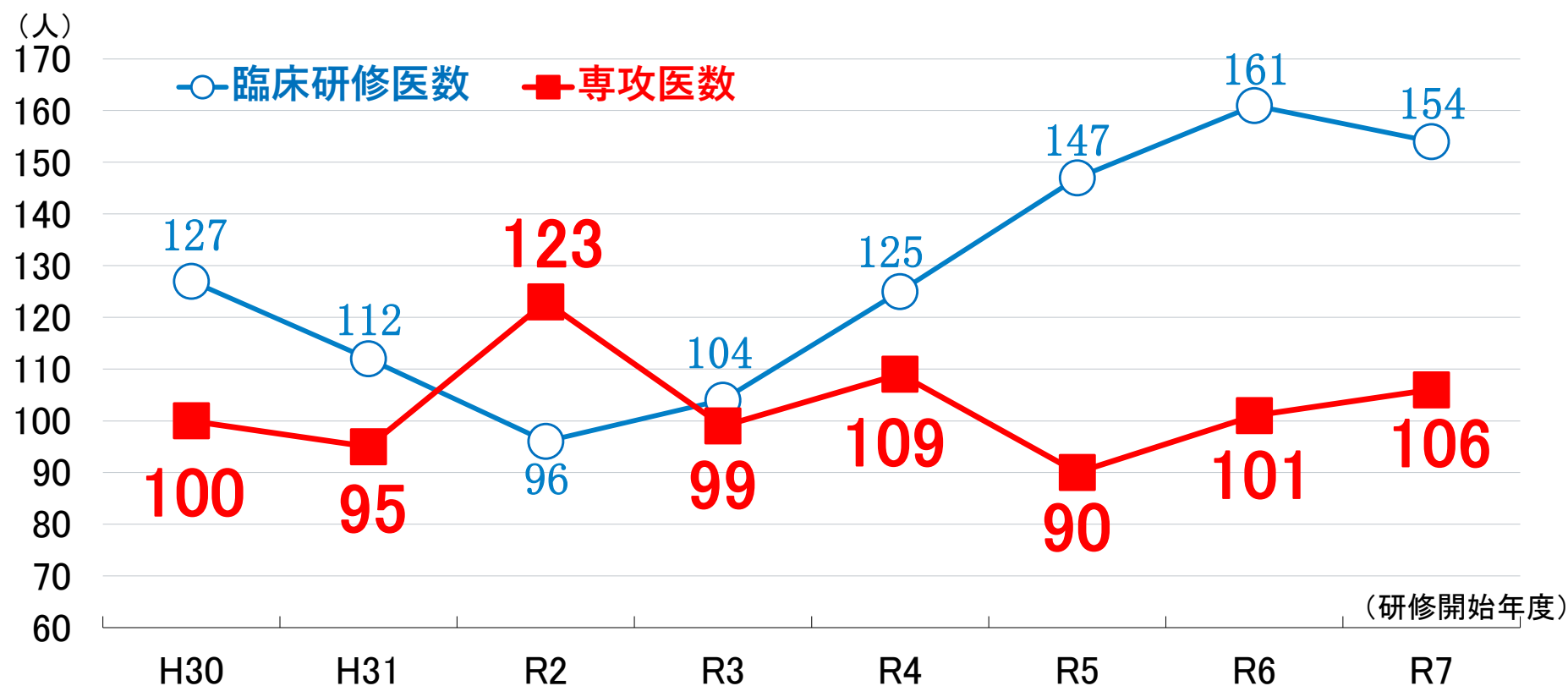


新潟県

専攻医の確保

専攻医採用数の推移（臨床研修医数との比較）

臨床研修医数の伸びに比べると、専攻医数についてはまだ伸び代がある。



第2次新潟県医師確保計画（前期）（令和6年3月策定）

第3章 前計画期間における医師確保の取組の評価

第3節 評価の各論

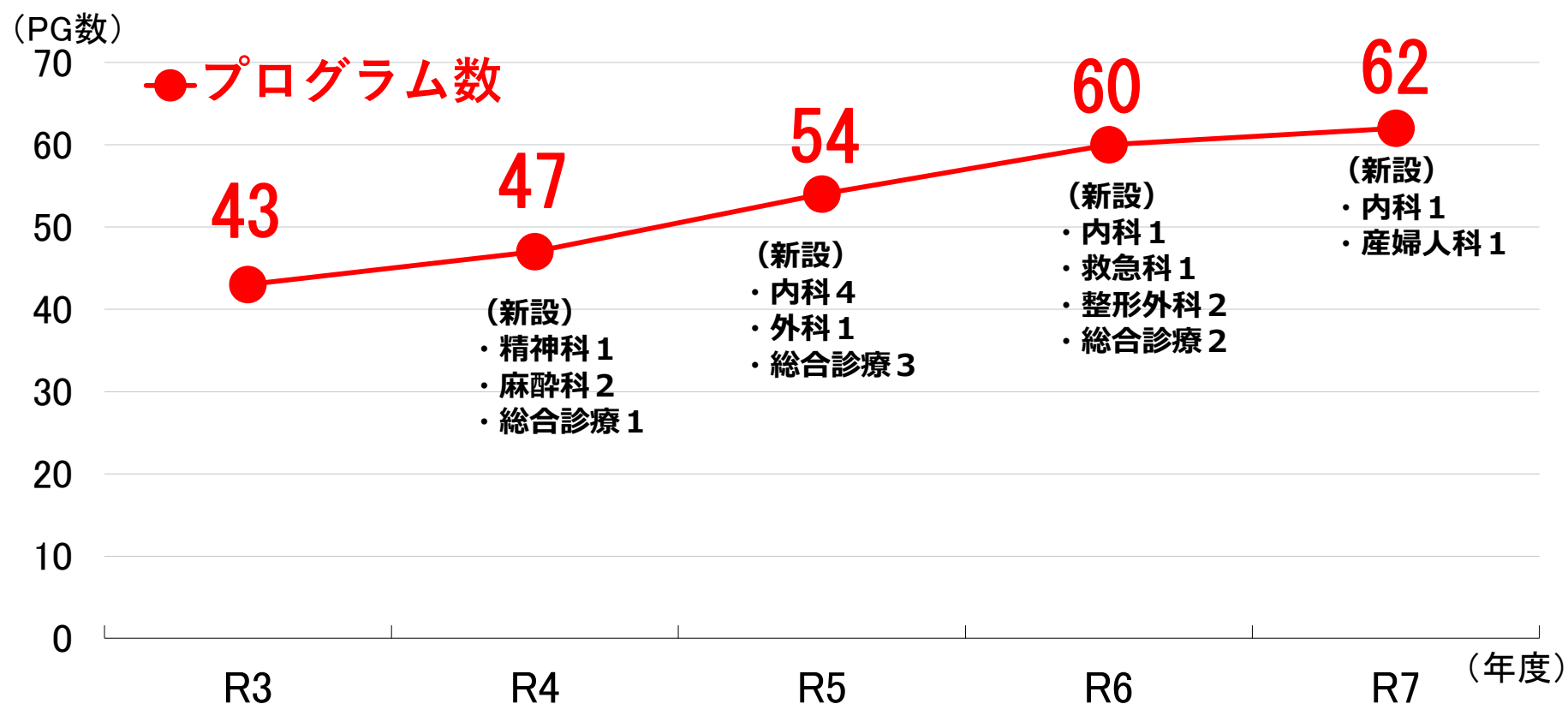
3 専攻医の確保

- 以前は、県内で臨床研修を修了したのち、引き続き、県内の専門研修プログラムに登録する医師が多い傾向にあったことから、前計画においては、臨床研修医確保の施策に重点を置いていました。
- しかし、現在の専門研修制度の導入から5年が経過し、県内で臨床研修を修了したのち、県外の専門研修プログラムに登録する医師が増えてきたことから、今後は、臨床研修医確保の取組に加え、専攻医の確保にも力点を置いた施策に取り組むことが必要です。

県内臨床研修医の県外流出について課題意識

専攻医確保、特に県内臨床研修医を県内での専門研修に繋げる取組みを重点化

市中病院においても、内科や総合診療を中心にプログラムの設置が進むなど、多くの専攻医を受け入れる体制が徐々にできてきている。



県内の臨床研修医を臨床研修修了後も引き続き県内の専門研修プログラムに進んでもらうための取組を進めている

1. 専門研修に関する情報提供の取組（R6～）

（1）情報提供体制の整備

臨床研修病院の協力の下、専門研修施設からの説明会や専門研修プログラムの情報を臨床研修医一人ひとりへ届ける体制を構築

（2）臨床研修病院での専門研修プログラム説明会等の開催

臨床研修医及び医学生に対し、本県の専門研修情報の提供や指導医との相談ができる場を提供するほか、県内臨床研修病院での専門研修プログラム説明会の実施を推進

（3）専門研修プログラムの紹介スライドの作成

専門研修終了後の留学や学位取得などのキャリアパスの多様な選択肢を、一目でイメージできるように共通フォーマットによる説明資料を全専門研修プログラムで作成し、リクルートに活用

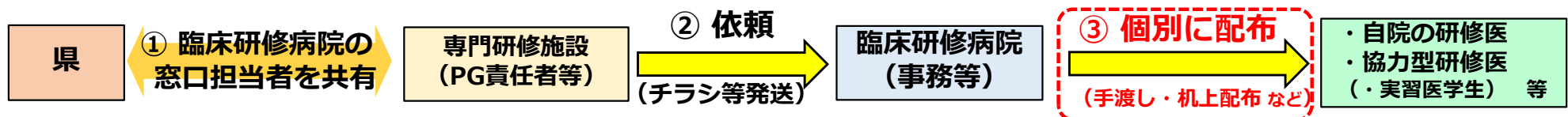
2. 地域一体で医師を育てる仕組みづくりの推進（R6～）

地域医療構想を踏まえ、二次医療圏単位で地域の病院が連携して一体となって医師を育成する専門研修プログラムの創設等を推進

1. 専門研修に関する情報提供の取組①

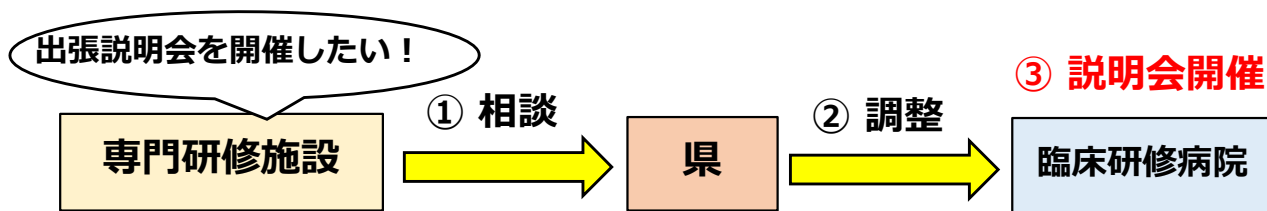
県と専門研修施設が協力し、県内の臨床研修医がしっかりと県内の専門研修に関する情報を得られるような仕組みを構築

(1) 研修医一人ひとりへ手渡し等で情報を届ける体制



(2) 臨床研修病院での専門研修プログラム説明会等の開催

専門研修PGのPG責任者等が臨床研修病院に出張して説明会を開催

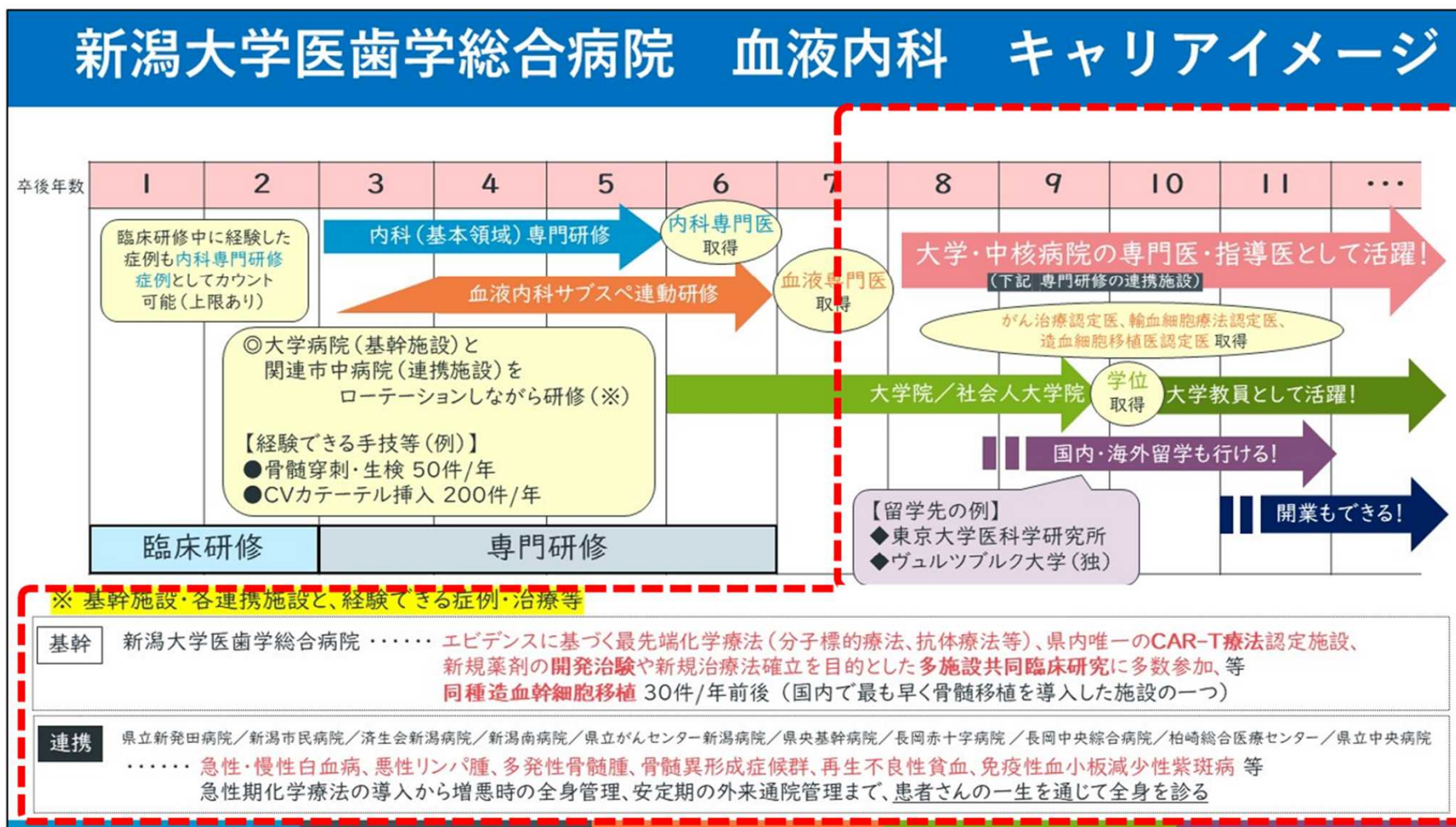


1. 専門研修に関する情報提供の取組②

(3) 専門研修プログラムの紹介スライドの作成

専門研修終了後の留学や学位取得などのキャリアパスの多様な選択肢を、一目でイメージできるように共通フォーマットによる説明資料を全専門研修プログラムで作成し、リクルートに活用

(例)



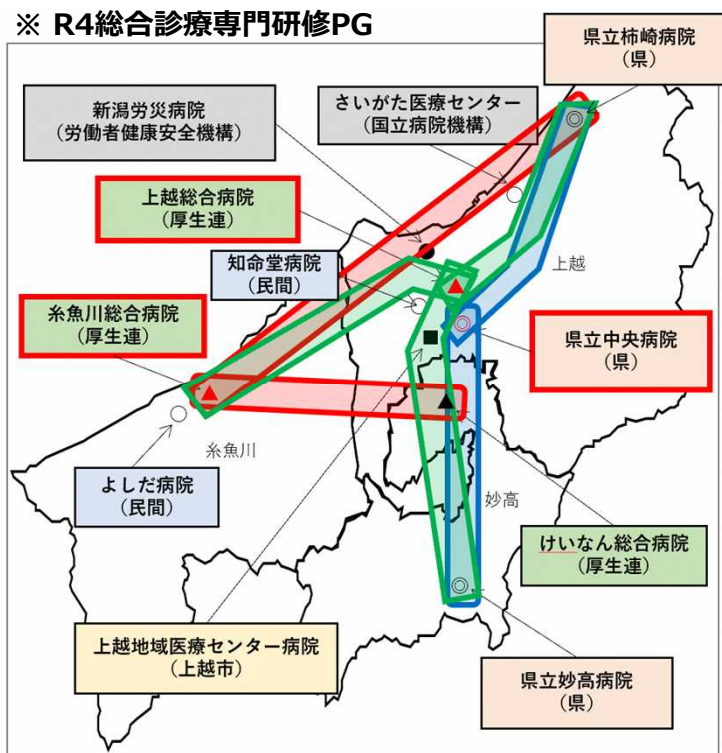
2. 地域一体で医師を育てる仕組みづくりの推進（二次医療圏単位での医師育成）



新潟県

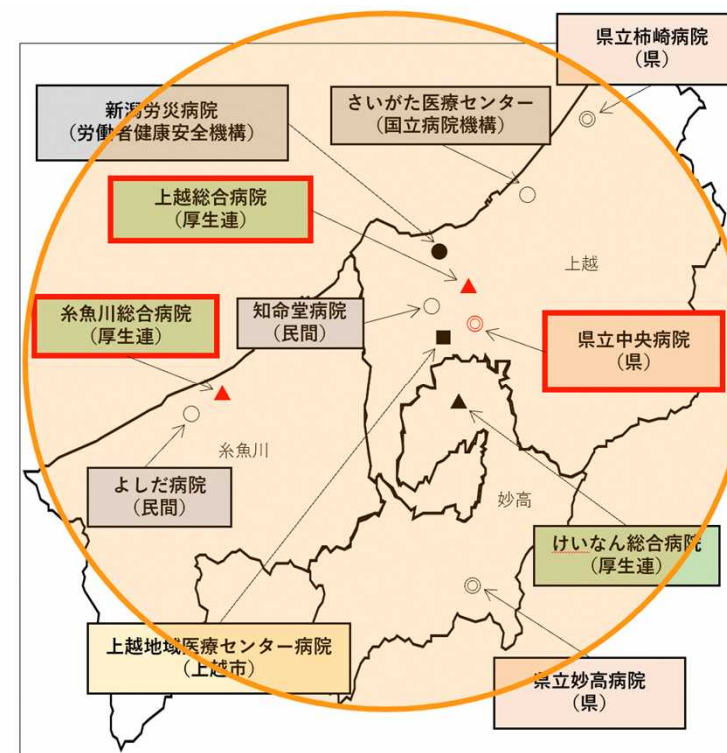
- 地域医療構想を踏まえた地域での医師養成の仕組み構築について議論するため、医療再編の議論が進む上越医療圏において「上越地域医師育成構想調整会議」を設置し、地域医療構想に資する医師の育成を議論
- 令和7年度に**圏域内の病院が連携し「新・家庭医療専門医」**を取得できる専門研修プログラムを設立

<イメージ> 【現状】 各病院がそれぞれで連携



赤：糸魚川総合 青：県立中央 緑：上越総合

【将来】 圏域内の病院が一体となり連携



新潟県地域医療対策協議会

地域医療を担う医師等医療従事者の確保及び育成など新潟県の医師確保策の検討等

医師確保計画 ワーキング

医師確保計画の策定・見直しや医師確保計画における医師の確保方針の検討等

地域医療を担う 医師配置等検討 ワーキング

地域医療支援センターが作成する配置案、県費修学生等の配置方針及びキャリアプラン等の検討

臨床研修・ 専門研修 ワーキング

臨床研修医の確保に加え、臨床研修医を専門研修につなげる「切れ目のない＝シームレスな」医師養成の取組を検討

専門研修 プログラム 認定委員会

専門研修プログラム認定・運用実績等に係る内容確認、検討等

総合的な診療能力を 持つ医師の養成・ 確保等に関する 研究班

総合的な診療能力を持つ医師の養成・確保等に向けた実効性の高い戦略の策定や具体的な方策等の検討

病院連絡会



各研修病院と県で、ほぼ毎月、院長や研修担当者とオンラインの連絡会議を開催し、それぞれの病院の取組の共有や、困りごとの相談、また、各種イベントの振り返りや県の今後の取り組みの方向性の説明や意見交換を繰り返し、お互いの認識を合わせている。



新潟県

3. 今後の課題について

医師確保に関し、徐々に成果が見えてきた部分もあるが、まだまだ道半ばである。また、特に以下のような課題への対応は今後充実させる必要があると考えており、引き続き関係各位の協力を得ながら医師確保に取り組んでいきたい。

● 中堅・シニア医師向けの対策

臨床研修医の確保については成果が出てきているが、専攻医については未だ十分ではなく、併せて若手医師を育成する指導医層の医師の確保に向けた取組が必要と考えている。

● 診療科偏在への対策

全ての診療科が少ない新潟県においても、例えば、内科の専攻医が経年的に減少しているなど、今後、県内での診療科の偏りが進む可能性を懸念する声もあり、こうした視点からの取組も今後必要になると考えている。

● 地域の診療所の支援

地域の診療所では医師の高齢化が進み、安定的な診療所の継続への懸念が生じており、診療所も含めた地域医療体制の維持に向けた取組の必要性も今後増えてくると考えている。